

バンドネオン 渡辺公章
Kimiaki Watanabe : Bandoneón

ギター 徳永真一郎
Shin-ichiro Tokunaga : Guitar

ヴァイオリン ヤンネ館野
Janne Taleno : Violin

東京公演

五重奏 のためのコンチエルト

ピアソラ・メモリアル
今年没後30年を迎えるタンゴの革命家ピアソラ

彼が求めた理想の編成である五重奏で
珠玉のピアソラ作品に命を吹きこむ！

ピアノ 金益研二
Kenji Kanemasu : Piano

コントラバス 田辺和弘
Kazuhiro Tanabe : Contrabass

主催：ムシカ・アリエント

2022 **10/14** Friday
トッパンホール

19:00 Start 18:30 Open

五重奏のためのコンチエルト、プエノス・アイレスの冬、鯨、アルフレッド・ゴビの肖像、アディオス・ノニーノ ほか

TICKET

<全席自由> 一般：4,000円 U-25引き(25歳以下割引)：2,000円

プレイガイド：トッパンホール / チケットぴあ：Pコード：226844

カンフェティ Confetti : <http://confetti-web.com/1014concert>

カンフェティのサービスで電話予約もできます：TEL 0120-240-540(平日10:00~18:00)



お問合せ／ムシカアリエント事務局 TEL：090-7070-1107(平日10:00~17:00)

Piazzolla Memorial

CONCERTO FOR QUINTET

CONCERTO FOR QUINTET

Piazzolla Memorial

Kimiake Watanabe : Bandoneón

バンドネオン 渡辺公章

幼少より矢野吉晴氏の下でピアノを学ぶ。筑波大学第一学群社会学類卒業。大学在学中フランスに留学、バンドネオン奏者ファン・ホセ・モサリーニに会い、ジュヌビリエ地方国立音楽院でバンドネオンを学ぶ。東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。その後、音楽の紹介と日仏間の音楽家の交流を目的とするNPO法人「日仏楽友協会」のプロデューサーとして多くの演奏会、講習会を企画する。タンゴ・グループ「タンゴ・アリエント」主宰。2015年より「吉田正記念オーケストラ」のバンドネオン奏者。2016～2018年、新潟、北上、八戸、山形で「左手のピアニスト」舘野泉氏と共演。2017年、舞台「ラストダンス・プエノスアイレスで。」にて劇中の生演奏を担当。2021年アストル・ピアソラ生誕100周年記念コンサート「ピアソラの軌跡」を企画、出演。2022年6月初のソロ・アルバム「LA ROSA DE LOS VIENTOS」をリリース。現在は仙台を中心として各地で演奏活動を行い、またバンドネオンとピアノのレッスンも行っている。Webサイトはtangoaliento.com

Janne Tateno : Violin

ヴァイオリン ヤンネ舘野

フィンランド・ヘルシンキ生まれ。ヘルシンキ音楽院にてシルツカ・クーラ、オルガ・バルホメンコ、シカゴ芸術音楽学院にて森悠子の各氏に師事。11年、22年東京文化会館にてリサイタルを行う。15年ヘルシンキにてW.ケンプのヴァイオリンコンチエルトを演奏。20年シベリウスコンチエルトを山形交響楽団と共演。現在ヘルシンキを拠点とするラ・テンベスタ室内管弦楽団のコンサートマスター兼音楽監督を務める他、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者、森悠子主宰長岡京室内アンサンブルのメンバーとしても活動。またバロックヴァイオリン演奏、アルゼンチンタンゴ演奏も行うなど日本各地で室内楽、オーケストラ奏者、ソリストとして活躍。17年アンサンブルMIDORIを結成、自主企画室内楽コンサートシリーズを開始。18年「Janne Plays Sibelius」(レコード芸術準特選)、21年「Monologo via Corda ～絃絃哀歌」(レコード芸術準特選)をリリース。ホームページ: jannetateno.com

Shinichiro Tokunaga : Guitar

ギター 徳永真一郎

徳島県出身のギタリスト。9歳からギターを学び、国内のコンクールで入賞を重ねた後、2007年に渡仏。ストラスブール地方音楽院を経て2011年よりパリ国立高等音楽院にて研鑽を積む。2016年、同音楽院修士課程を満場一致の首席で卒業。これまでにギターを川竹道夫、アレクシス・ムズラキス(デュオ・メリス)、ローラン・ディアンズ、ジュディカエル・ペロワ各氏に、古楽・リュートを今村泰典氏に師事。また、キジアーナ音楽院のオスカー・ギリア氏のクラスにて最優秀ディプロマを取得。2008年ナクソス国際ギターコンクール(ギリシャ)第3位、2010年オルシュティン国際ギターコンクール(ポーランド)第1位及びグランプリ。2012年、同フェスティバルにてリサイタル、マスタークラスを行う。2016年ブローニュ・ビヤンクール現代音楽コンクール(Musique du dernier siècle 2016)にて審査員特別賞(課題曲賞)を受賞。2018年ヴェリア国際ギターコンクールのコンチエルト部門にて第2位入賞。これまでにカレンツァーナ音楽祭(共演:小林真理、メゾソプラノ)や、パリギターフェスティバルなどに招待される。2017年、マドリッドのソフィア王妃芸術センターにて指揮ジョルディ・フランセスのアンサンブル・ソニド・エクストレモと共演し、作曲家・松宮圭太氏の《ギターとアンサンブルのための小協奏曲》の世界初演のソリストを務める。2011年から2013年度までヤマハ留学奨学生、またフランスのタラツィ財団並びにADAMI財団奨学生。2018年、アルバム「テリュール」をリリース、文化庁芸術祭優秀賞を受賞。

Kenji Kanemasu : Piano

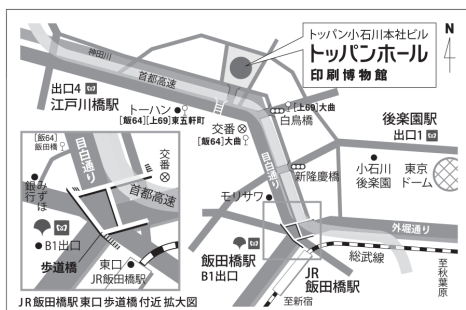
ピアノ 金益研二

作編曲家・ピアニスト。東京都出身。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。作曲を近藤譲氏に師事。幼少時からピアノ・エレクトーン(電子オルガン)を始め、クラシックからポピュラー音楽全般まで幅広く親しむ。大学卒業後はバンドネオン奏者田邊義博(Yoshihiro Tanabe)氏との出会いによりアルゼンチンタンゴに興味を持ち、06年にはプエノスアイレスにてホルヘ・ドラゴネ(Jorge Dragone)氏にタンゴピアノを師事。08年より世界の音楽とオリジナル楽曲を織り混ぜた独自のスタイルでソロライブ「音の散歩」シリーズを展開。ヴァイオリニスト古澤巖のCD「The Ecstasy Of Gold」(2021)に「Milonga de noche」が収録される他、様々なアーティストへ楽曲、アレンジを提供。ピアニストとしては自身のライブの他に、尺八奏者・渡辺淳氏とのユニット「ウミガメ」や、古澤巖「ヴァイオリンの夜」全国ツアーのピアニストを務める他、柔軟な感性を活かしアルゼンチンタンゴをはじめとした多岐に渡るジャンルのアーティストとのコラボレーション、ミュージカルのオーケストラでの演奏など幅広く活躍中。楽譜:「碧空に咲く花」(マザーアース)「JAZZアレンジで弾くスタジオジブリ」(ヤマハミュージックメディア)他CD:オリジナル作品集「音の散歩～おいしい風～」他日本作編曲家協会(JCAA)・日本演奏連盟会員。趣味はジョギング。webサイト: <http://www.kanemasukenji.com/>

Kazuhiko Tanabe : Contrabass

コントラバス 田辺和弘

アルゼンチンタンゴ、即興的な音楽表現などで活動するベーシスト。大学在学中からクラシックをベースに活動する中でバンドネオン奏者啼鵬に誘われアルゼンチンタンゴと出会う。卒業後小松亮太との共演をきっかけに国内外の多くのタンゴミュージシャンと共演。アルゼンチンのタンゴミュージシャンとも若手からビクトルラバジェン、オスバルドペリンジェリ、ホセコランジェロ、パブロシーグレルなどのタンゴ全盛時代のミュージシャンとも共演している。タンゴ以外でもレコーディング、舞台など様々な場所で演奏する中2010年に即興演奏の第一人者でコントラバス奏者故齋藤徹氏と出会い大きな影響を受ける。氏の主催するベースアンサンブル弦311に参加。音楽の中にある即興性に興味を持ち、喜多直毅クアルテットやBass collectiveなどに参加。ジャンルに関係なく音楽自体の持つエネルギーを表現するべく日々模索、活動している。



交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69]「飯64」「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
www.toppanhall.com